

内容

1巻 アスレティックトレーナーの役割.....	1
2巻 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防	3
3巻 コンディショニング	4
4巻 リコンディショニング.....	5
5巻 救急対応.....	6
6巻 検査・測定と評価.....	6

1巻 アスレティックトレーナーの役割

- P.61左列 2の1)4行目

修正前:ATには医療系の関連する国家資格を有している者も多い。

修正後:ATには関連する医療系の国家資格を有している者も多い。

(※単語の順番の入れ替え)

- P.63 左列 29行目

修正前:当然のことを定める場合であっても、

修正後:お互いが了解している場合であっても、

- P.63 右列 (3)緊急事務管理 11行目

修正前:当該スポーツ選手のために救急対応を施した場合、緊急事務管理(民法698条)が成立すると考えられている。

修正後:当該スポーツ選手のために救急対応を施した場合、状況によっては、緊急事務管理(民法698条)が成立すると考えられている。

- P.66 左列 22行目

修正前:救急車が到着するまでの間、その知識に基づいた救急対応を施すべきであろう。

修正後:救急車が到着するまでの間、その知識に基づいた救急対応を施すべきであろう。施した救急対応について記録に残しておくことも重要である。

- P.129 左列 1. 公認スポーツファーマシスト認定制度 13行目

修正前:認定者数は 12,345 名(2022年4月1日現在)❶であり、国内の薬剤師認定制度の中でも認定者数が多い資格である。

修正後:認定者数は 13,114 名(2025年4月1日現在)❶であり、国内の薬剤師認定制度の中でも認定者数が多い資格である。

● P.129 右列 1 行目

修正前:日本薬剤師会③の協力を得てスポーツファーマシスト制度が設立された。

修正後:日本薬剤師会③の協力を得てスポーツファーマシスト制度が設立された。本制度は、アンチ・ドーピングに限らず、競技スポーツや健康スポーツの視点から情報提供を行うため、2024 年度より一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構と JADA による共同運営となり、カリキュラムの見直しを行った。

● P.129 右列 2. カリキュラム 1 行目

修正前:認定には、JADA が定めるアンチ・ドーピングに関するセッションで構成される講習の受講と確認試験の受験が必要であり、

修正後: 認定には、公認スポーツファーマシストカリキュラム委員会が定めるアンチ・ドーピング及びスポーツ薬理学、スポーツ医学、スポーツ科学に関するセッションで構成される講習の受講と確認試験の受験が必要であり、

● P.129 右列 2. カリキュラム 14 行目

修正前:各講習は、集合研修(基礎講習)と e-ラーニングによる実務講習の 2 種から構成されている。

修正後:各講習は、e-ラーニングによる基礎講習と実務講習の 2 種から構成されている。

● P.129 脚注

修正前:①薬剤師数 国内の薬剤師数は 311,289 名。医師は 327,210 名、歯科医師は 104,908 名 (2018 年 12 月 31 日現在)。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/18/index.html>

修正後:①薬剤師数 国内の薬剤師数は 329,045 名。医師は 347,772 名、歯科医師は 103,652 名 (2026 年 1 月 26 日現在)。

https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/dl/R06_1gaikyo.pdf

● P.130 表5-6-1スポーツファーマシストカリキュラムと講習内容例 1 行目

修正前:1.基礎講習 (集合研修,状況に応じて e-ラーニングで実施する場合もある)

修正前:1.基礎講習

● P.130 表5-6-1スポーツファーマシストカリキュラムと講習内容例 7 行目

修正前:

(2)スポーツ倫理と薬剤師倫理の違い

・参照する規程

・具体的事例と対応方法

(3)アスリートの体験談

(4)認定制度について

・スポーツファーマシスト認定制度について

・手続き

修正後:

(2)スポーツ薬理学・スポーツ医学・スポーツ科学

(3)スポーツ倫理と薬剤師倫理の違い

- ・参照する規程
- ・具体的事例と対応方法

(4) アスリートの体験談

(5) 認定制度について

- ・スポーツファーマシスト認定制度について
- ・手続き

- P.130 右列 1行目

修正前：国民体育大会(国体)

修正後：国民スポーツ大会(国スポ)

- P.131 脚注

修正前：⑤スポーツファーマシスト検索サイト

<http://www3.playtruejapan.org/sports-pharmacist/search.php>

修正後：⑤スポーツファーマシスト検索サイト

<https://sportspharmacist.jp/search/>

- P.144 表 6-2-4 SORT による研究の質の定義

修正前：すべてか無かの研究

修正後：全か無かの研究

2 巻 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防

- p.69 右列 2行目

修正前：

1 件の重大な障害がある事故の裏には、29 件の軽い障害がある事故、さらに 300 件の障害のない事故(ヒヤリハット)が発生していた(以下省略)

修正後：

1 件の大きな事故の裏には、29 件の軽微な事故、そして 300 件のヒヤリハットが発生していた(以下省略)

- p.69 右列 図 4-5-7 ハインリッヒの法則

修正前：

上から「重大な障害がある事故」「軽い障害がある事故」「障害のない事故(ヒヤリハット)」

修正後：

上から「重大事故」「軽微な事故」「ヒヤリハット」

- P.368 図 8-7-87 図 8-7-88

修正後:



図 8-7-86 前顔面から観察したスクワット姿勢
スクワット動作において、膝関節が中間位を保って下肢の屈伸運動となっていることを観察する。



図 8-7-88 片脚スクワット
適切な両脚スクワット動作が可能となれば、片脚スクワットへと段階的に進める。



図 8-7-87 両脚スクワット
重心高をさらに低くする両脚スクワットでは、体幹の長軸が床と水平になるくらいまで、股関節と膝関節を深く屈曲させる。

アライメントと重心を制御できるのならば、片脚スクワットへと段階的に進めることになる(図 8-7-88)。さらに、安定面から不安定

を制御する運動学習に有効である(図 8-7-90)。とりわけ、サイドランジではターン操作における外脚の動きに近くなることから、

3 巻 コンディショニング

- P.183 左列 17 行目

修正前:走能力のトレーナビリティに生物学的成熟度が影響を及ぼすことが示唆されている。

修正後:走能力のトレーナビリティに生物学的成熟度が影響を及ぼすことが示唆されている⁸⁾。

4 巻 リコンディショニング

- P.6～9

修正前:

1. リコンディショニング実施にあたっての主要な事項

- 1) 進行の概要
- 2) 進行にあたって留意しておくべきこと
 - (1) 機能評価からの導き
 - (2) 発生機転・発生メカニズムの分析

3) スポーツ動作への着目

4) 競技特性, 種目特性の理解

5) リスクマネジメント

修正後:

1. リコンディショニング実施にあたっての主要な事項

- 1) 進行の概要
- 2) 進行にあたって留意しておくべきこと
 - (1) 機能評価からの導き
 - (2) 発生機転・発生メカニズムの分析

(3) スポーツ動作への着目

(4) 競技特性, 種目特性の理解

(5) リスクマネジメント

- P.118 右列(4)Buffalo concussion treadmill test(BCTT) 4 行目

修正前:

BCTT の結果は, 有酸素運動を開始する際に症状が悪化しない最大の閾値となる心拍数を

修正後:

BCTT の結果は, 有酸素運動を開始する際に症状が悪化しない最大の閾値となる心拍数(閾値心拍数)を

- P.167 右列 ③コートサーフェス 2 行目

修正前:ハードコード

修正後:ハードコート

- P.178 図6-6-3 手関節不安定性に対するリコンディショニング

修正前:

A. 長母指外転筋 B. 長橈側手根伸筋 C. 尺側手根屈筋 D. 橈側手根屈筋 E~G. ダーツスロー・モーション (E は尺掌屈位, F は中間位で矢印はダーツスロー・モーションの運動方向を示す, G は尺背屈位)

修正後:

A. 長母指外転筋 B. 長橈側手根伸筋 C. 尺側手根屈筋 D. 橈側手根屈筋 E~G. ダーツスロー・モーション (E は尺掌屈位, F は中間位で矢印はダーツスロー・モーションの運動方向を示す, G は橈背屈位)

- P.234 左列 ②「見る」 3 行目

修正前:歩様

修正後:歩容

- P.236 図 6-11-2 SEBT を用いた動的バランス評価 差し替え(別添参照)

- P.242 表6-11-8 足部スポーツ障害に関係する構造的・機能的な問題 2. 足部機能の低下

修正前:トラスの動き

修正後:トラスの弱化

5 巻 救急対応

- P.139～144 2 熱中症 1 病態と医学的留意事項・救急対応の意義 差し替え(別紙参照)

- P.174 左列 8 行目

修正前:負傷したプレイヤーへの初期対応時の注意点で, 特に…

修正後:負傷したプレイヤーへの初期対応時において, 特に…

- P.174 左列 1)頭部外傷 1 行目

修正前:頭部打撲については

修正後:頭部外傷については

- P.175 左列 6 EAP 立案における留意点 8 行目

修正前:AT

修正後:JSPO-AT

6 巻 検査・測定と評価

- P.19 使用する計測部位 21 番目

修正前:下肢長

修正後:下腿長

- P.19 使用する計測部位 22 番目

修正前:下肢長

修正後:下腿長

- P.20 左列

修正前:④下肢長:

修正後:④下腿長:

- P.21 図 3-1-9

修正前:下肢長

修正後:下腿長

- P.25 表 3-1-3 BOD POI を用いた ADP 法の長所と短所

修正前: BOD POI

修正後: BOD POD

- P.33 左列【矢状面上の不良姿勢タイプ】・円凹背(sway back) 1 行目

修正前:

骨盤が前方へ偏位し, 股関節伸展位となる. 重心を正常な位置に保つため胸椎部の後方移動が生じる.

修正後:

骨盤が前方へ偏位し, 股関節屈曲位となる. 重心を正常な位置に保つため胸椎部の後方移動が生じる.

- P.45 左列 (1)屈曲と伸展 5 行目

修正前: また, 手関節, 手指, 足関節, 足指に関しては, 手掌または足底への動きが屈曲, 手背または足背への動きが伸展である.

修正後: また, 手関節, 手指, 足指に関しては, 手掌または足底への動きが屈曲, 手背または足背への動きが伸展である.

- P.45 右列 (14)回内と回外

修正前:

(14)回内と回外

足部の運動で, 足底が外方を向く動き(足部の外がえし, 外転, 背屈の複合した運動)が回内, 足底が内方を向く動き(足部の内がえし, 内転, 底屈の複合した動き)が回外である.

修正後:

(14)背屈と底屈

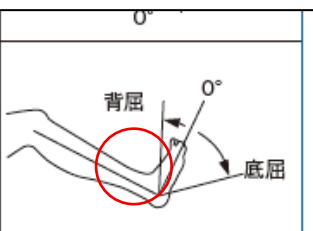
足関節の運動で, 足背への動きが背屈, 足底への動きが底屈である.

(15)回内と回外

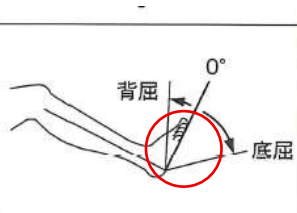
足部の運動で, 足底が外方を向く動き(足部の外がえし, 外転, 背屈の複合した運動)が回内, 足底が内方を向く動き(足部の内がえし, 内転, 底屈の複合した動き)が回外である.

● P.49 足関節背屈・底屈の図 移動軸は足底面に修正

修正前:

背屈 dorsiflexion	0-20	矢状面における腓骨長軸への垂直線	足底面	膝関節を屈曲位で行う。	
底屈 plantar flexion	0-45				
		前額面にお	足底面	膝関節を屈曲位、足関節を	

修正後:

背屈 dorsiflexion	0-20	矢状面における腓骨長軸への垂直線	足底面	膝関節を屈曲位で行う。	
底屈 plantar flexion	0-45				

● P.63 図 3-4-1 肩甲骨外転・上方回旋 矢印の向き修正

修正前:



図 3-4-1 肩甲骨外転と上方回旋
白矢印：抵抗，青矢印：対象者の力発揮

修正後:

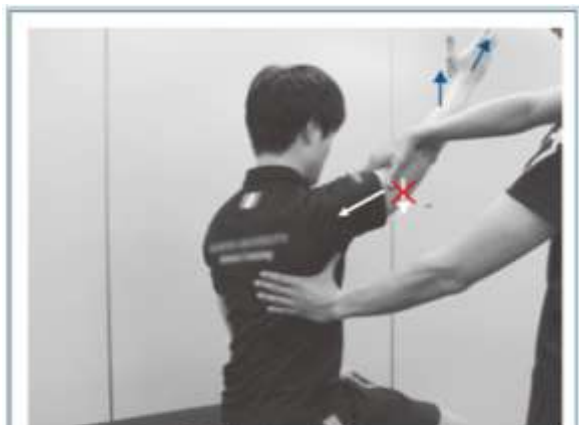


図 3-4-1 肩甲骨外転と上方回旋
白矢印：抵抗，青矢印：対象者の力発揮

- P.63 左列 ②手順 7行目

修正前:上腕遠位部をつかみ, 下方に向かって抵抗を加える(図 3-4-1).

修正後:上腕遠位部をつかみ, 後方に向かって抵抗を加える(図 3-4-1).

- P.93 右列 ④間欠負荷法と連続負荷法の併用

修正前:OBLA を超えるまで④や③の方法で実施して

修正後:OBLA を超えるまで④の方法で実施して

- P.99 左列 ②客観的評価 3行目

修正前:最大酸素摂取量(mL/kg/分) = (走行距離 m - 505) / 44.74

修正後:最大酸素摂取量(mL/kg/分) = (走行距離 m - 505) / 44.74

- P.108 図 3-8-1 と図 3-8-2 の入れ替え

※図 3-8-1 が Mann 検査、図 3-8-2 がプレシーズンのバランス機能の評価となる。

修正前:図 3-8-1 プレシーズンのバランス機能の評価

修正後:図 3-8-2 プレシーズンのバランス機能の評価

修正前:図 3-8-2 Mann 検査

修正後:図 3-8-1 Mann 検査

- P.110 図 3-8-6 SEBT の実施方法 写真の左右反転、図の表記修正(別添参照)

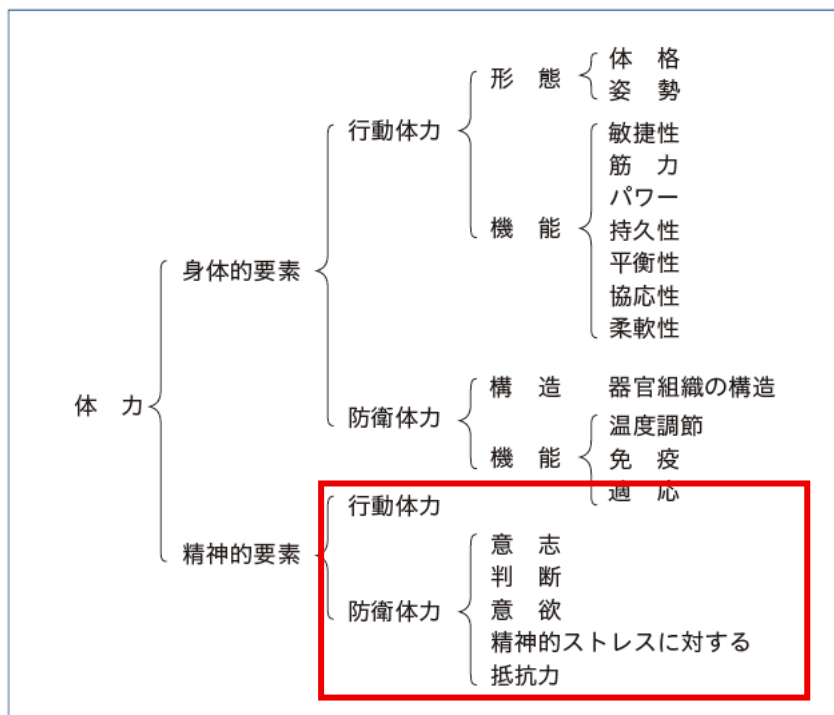
- P.110 左列 17行目

修正前:なお, リーチの方向はリーチ足を基準として,

修正後:なお, 測定脚を基準として,

● P.112 図 3-9-1 体力の構成表

修正前:



修正後:

